

請願第 2 号

平成 23 年 5 月 23 日

川崎市議会議長 大島 明 様

多摩区

多摩区西生田住環境を守る会

ほか 658名

西生田 4 丁目に一時避難もできる広場＝公園を整備することを求める請願

東日本大震災では神奈川県も大きく揺れ、怖い思いをされた方も多かったろうと思います。多摩区西生田近辺では、南生田地区や駅を挟んだ菅地区、寺尾台地区などと違い、広い空間地はありません。近辺の避難地は坂道の上り下りが必要で、歩いて15分から20分かかる南生田小学校、線路を越えなければ行けない西生田小学校などとなっています。これでは足腰の弱い方ですとたどり着けない場合もあります。

また西生田近辺は古くからの住宅地であるため、計画的なまちづくりがなかなか進まず、近隣には児童公園やマンションの提供公園くらいしか空間がありません。市管理の緑地もありません。

一方、地区内には、山田建設株式会社所有の民間地として、平成23年4月現在、空き地となっている多摩区西生田 4 丁目15（4 丁目6619番3 ほか（地番））の2,200m²を超える土地があります。敷地内には山菜の一種であり水辺や湿原に育つ「リュウキンカ」という植物が生育し、ほか「かりん」などの樹木等も多く、近隣住民に緑を提供しています。

ただ近い将来、マンション建設が計画されていることから、貴重な緑も空間もなくなるだろうとしています。私どもは、このような場所を市の土地として残していただき、普段は緑地として地域住民が管理し、いざというときは、一時的

な避難場所として活用し、潤いのある安心できるまちを作っていただけよう、
切に要望するものです。

請願項目

西生田4丁目6619番地3ほかに残されている斜面地は、市のみどりのカルテ
でもBランクに指定されている、貴重な緑地です。ここを、緑を残し、震災の
ときには、一時避難ができるような機能を持つ公園的な広場として整備してく
ださい。

紹介議員

浅野文直
菅原進
井口真美
月本琢也
猪股美恵
三宅隆介